

AIをはじめとするデジタル技術を活用し、下水道管路工事に係る道路占用書類の作成・工事監督業務の効率化につなげたい！

課題



- 道路占用書類は、複数の職員が分担し確認した上で道路管理者へ提出しているが数が膨大であるため、書類の整合性の確認に多大な時間が必要。
- 工事内容を途中で変更した場合や完了時についても同様の書類作成が必要であり、変更内容及び現地の状況、提出書類内容の整合確認が煩雑であるため、多大な時間を要する。
- 道路占用書類（施設の数量）と現地施設の数量（工事写真資料）との整合を確認する過程で、工事の出来高確認や進捗確認など工事監督の効率化もあわせて進めることが必要。

背景

- 工事を行うためには、各道路管理者に対し、施工時期やエリア毎に工事内容を分割し道路占用書類を作成のうえ事前に提出する必要がある。
- 道路占用書類の作成にあたっては、①道路管理者毎に図面を作成、②項目毎の集計表を作成、③道路管理システムを用いて占用申請書類作成、の順番で資料を作成することから、「職員が図面から情報を読み取る際のミス」、「集計を経る過程での読み間違いや個数算定間違い」、「道路管理システムへの誤入力」を防止するための確認業務が発生する。
- 道路占用書類を提出した後も、工事を行っていく中で、地元調整等により、工事内容が変更になることが多くある。その際にも再度事前に道路占用書類の提出が必要となる。そのため、各工事で変更手続きが複数回必要となり、その都度、確認業務が発生する。

現場からのコメント



- 過去の申請書や図面等の資料データを提供します。
- AI等を活用し、道路占用の申請書類や工事発注図書、現場（写真）との不整合を検知するシステムを構築したいと考えています。

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

下水道局建設部
（設計調整課 道路調整担当）

下水道事業における
道路調整業務を行っている。